

<b>2 学校安全部会</b>		部会テーマ	学校の安全について考える
内 容	近年、多発する自然災害や事故・事件等の変化に伴い、安全教育の更なる充実が求められている。また、想定を超えるような事態にも対応できるよう、安全管理の徹底と組織活動の実効性をさらに高めることが必要となる。そこで本部会では、県内の安全教育の実践発表及び組織活動に関する研究発表を通して、学校が取り組むべき具体的な方策について考える。		
部 会 担 当	渡邊 久子 (総合教育センター)		

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

**発表①****自らの命を守り抜き、安全で安心な生活や社会を実現するために  
主体的に行動する態度の育成を目指して**

～令和5(2023)年度学校安全総合支援事業の取組～

**9時55分～10時30分**

県教委事務局学校安全課 佐藤 隆文  
さくら市教育委員会学校教育課 根本 広昭

令和5年度、さくら市をモデル地域として、「地域の防災力」を活かし、様々な自然災害に対する教育プログラムの開発・活用を通して、いかなる状況下でも『自らの命を守り抜き、安全で安心な生活や社会を実現するために主体的に行動する』ことができる児童生徒の育成について取り組んでいる。その成果等について発表する。

**発表②****県内高等学校における組織活動の現状と課題**

～高信頼性組織理論 (Weick and Sutcliffe) の視点から～

**10時40分～11時15分**

生活文化スポーツ部スポーツ振興課 小松 雅彦

学校における組織活動の実効性を高めるため、高信頼性組織(以下、HRO)理論を理論的背景とした「学校版マネジメントチェックリスト」を作成し、県内高等学校を対象に実態調査を実施した。その結果、HRO理論の要件を満たす組織の傾向が明らかとなったため、その概要を紹介する。

**質疑等**

**11時15分～11時25分**